



2026年4月

保護者説明会

信州大学人文学部



ご入学おめでとうございます 保護者の方に知っておいていただきたいこと

- 人文学部 1 年生の学びのこと
- 2 年次の進級コースのこと
- 海外留学のこと
- 免許・資格のこと
- 卒業後の進路のこと
- 休退学に関すること
- 各種相談窓口のこと

学生便覧はホームページから
閲覧することができます。

学年暦①1年次の1年間 前期(4-9月)

- 4月 4日 (土) : 入学式・新入生ガイダンス
 - 4月 7日 (火) : 健康診断
 - 4月 9日 (木) : 前期授業開始
 - 4月22日 (水) : 履修登録締切(4月3日(金)~)
- 履修登録確認・訂正期間
4月24日~4月29日
- 履修登録取消期間
4月30日~5月29日
 - 7月29日 (水) : 授業終了
 - 7月30日 (木)~8月 5日 (水): 前期末試験期間
 - 8月 6日 (木)~9月27日 (日): 夏季休業

自分で授業を選んで
履修登録



「集中講義」あり

3. 学年暦②1年次の1年間

後期(9月末-3月)

- 9月28日(月):後期授業開始
- 10月12日(月):履修登録締切[9月14日(月)~]
- 12月26日(土)~1月3日(日):冬季休業
- 1月22日(金):後期授業終了
- 1月25日(月)~29日(金):後期末試験期間
- 1月30日(土)~3月31日(水):春季休業

自分で授業を選んで履修登録

大学から保護者に向けて成績表が送られるのは、1年生及び2年次は9月下旬頃(1年次留年生のみ3月下旬にも送付)、3年次及び4年次留年生は3月下旬頃

後期には
進級関連行事も



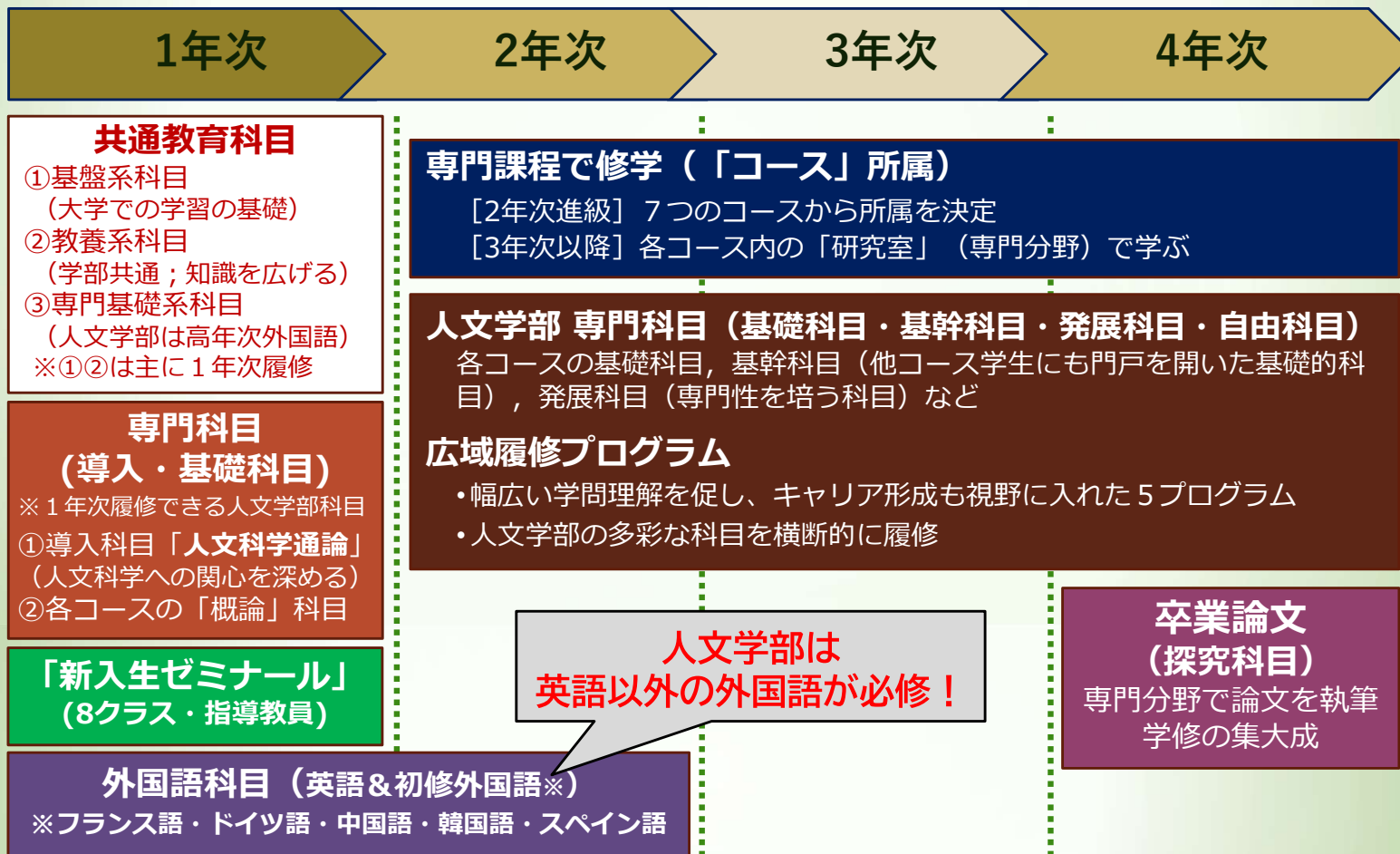
「実践知」を修得するための7コース

2年次以降

- 哲学・芸術論コース
- 文化情報論・社会学コース
- 心理学・社会心理学コース
- 歴史学コース
- 比較言語文化コース
- 英米言語文化コース
- 日本言語文化コース

「実践知」を修得するためにー

人文学部での4年間（修学の流れ）



クラス担任(指導教員)

L1	塩原 佳典	SHIOHARA, Yoshinori
L2	鈴木 裕也	SUZUKI, Yuya
L3	Ash Leigh Spreadbury	アッシュ, スプレッドベリー
L4	中澤 光平	NAKAZAWA, Kohei

L5	野津 寛	NOTSU, Hiroshi
L6	速水 香織	HAYAMI, Kaori
L7	前田 豊	MAEDA, Yutaka
L8	松本 昇	MASTUMOTO, Noboru

1年生の学びの基礎

新入生ゼミナール

- ・ 1クラス, 約20名
- ・ 図書館の利用法やインターネットの利用の注意など
- ・ 人文学部の学びに共通する資料の探し方や資料分析の方法
- ・ レポートなどの書き方
- ・ 自分でテーマを探して, 発表 (プレゼンテーション) を行う
- ・ ディスカッション

人文科学通論

- ・ 7コースのそれぞれの専門的内容の紹介
- ・ 各コースごとに課題が出される
- ・ 後期の通論では「書評」の作成を中心に人文学の学びを深める
- ・ クラス代表による書評プレゼンテーション大会

2年次への進級のために



- ① 希望するコースの面接を経て受入れ決定
- ② 「進級要件」を満たす単位を取得

2年次に進級
コースに所属
(2027年4月)

「進級要件」とは？

人文学部における
2年次に進級するための
最低条件

《共通教育科目21単位以上》
(外国語科目の4単位以上を含む)

サンプル:2026年度入学生用

共通教育科目

日本語・日本事情教育科目
(外国人留学生対象)

教 養 系	人文・社会
	自然・技術
	環境・健康

- 各区分から2単位以上, 計14単位以上修得
- 「環境科学・理論と実践」2単位 必修
- 演習形式の授業を1年次に2単位以上修得

『学生便覧』 「履修表1」 参照。

基 盤 系	学術リテラシー	必修	
	データサイエンスリテラシー	必修	
	統計 科学史 現代社会論	2つ以上の区分から 4単位	
	健康 (健康科学・理論と実践)	必修	
	言語 (1年次)	英語	必修
		中国語 ドイツ語 フランス語 ハンゲル スペイン語	いずれか必修

初修外国語の選択は進級コースに関係する場合あり

1年生の一週間(一例)

	月	火	水	木	金
1	共通科目		初修外国語		学術 リテラシー
2	人文科学通論 I	健康科学	クリティカル・ リーディング I 英語	共通科目	共通科目
3	初修外国語	共通科目	専門科目		アカデミック・イング リッシュ・フェイズ I 英語
4				専門科目	共通科目
5	専門科目			新入生ゼミナール	

授業は90分授業 1限9:00-10:30, 5限16:20-17:50

進級のこと

7つのコースから希望コースを選択する

- ・「学びたいこと」を明確にする
- ・「必ずしも希望コースに進めるわけではない」ことを念頭に広くコース選択をする意識をもつ
- ・各コース・各研究室のことをよく知る
- ・コース相談会を積極的に活用する
- ・進級に関する不安や悩みには指導教員や学務委員会，学務係，学生相談室 etc.が対応する

日程

- ・ 10月 1日 クラス会（進級関係のお知らせ）
- ・ 10月～11月 コース相談会の実施（昼休みなど）
- ・ 12月 3日 進級志望調査票提出期限
- ・ 1月 7日 進級面接

2年次への進級

進級先が決まるまで

前期

進級したいコース・
研究室を知る！



「人文科学通論I」、興味あるコース
・研究室の概論、共通教育授業を履修



後期

9月

10月

11月

12月

1月

2月

進級関連行事

「新ゼミ」クラス会

コース相談会

学務委員会による進級相談会

志望調査票の作成・提出

進級面接

進級受け入れ
コース決定

第1希望コースに進級
できるとは限らない

単位数が足りなければ
コースが決定してい
ても留年

2年次生はコースで学ぶ

- 哲学・芸術論コース
- 文化情報論・社会学コース
- 心理学・社会心理学コース
- 歴史学コース
- 比較言語文化コース
- 英米言語文化コース
- 日本言語文化コース

広域履修プログラムでコースを越えた学びを行う

教職などの資格のための授業もある

2年生の学びと研究室配属

コースの特論や演習，実習

- ・各コースの特論（教員の専門的内容の授業）
- ・演習（ゼミナール，専門的内容に関する発表など）
- ・実習（実験など）

- ・共通教育での英語，初修外国語の授業など

研究室配属

- ・それぞれのコースで2年次が終わるまでに，3年次からの研究室が決まる
- ・各研究室の専門や特色を知り，研究室を選ぶこと
（※2年次のときにあらかじめ決まっているコースもある）

7コースの紹介①

哲学・芸術論コース（教員6）

[言語哲学・心の哲学]
[中国哲学]
[仏教学・比較哲学]
[倫理学・西洋哲学]
[近現代美術史]
[音楽学]

教員の
専門分野

- 世界、社会、人間、知識、私、心、愛…
- 当たり前で決まりきっていると思い込んでいたことからの根っこから考える
- 感性と身体知を磨くコミュニケーションとしての芸術
- 美術、音楽の2領域
- 理論と実践の両面からのアプローチ

コースを理解する
キーワード

文化情報論・社会学コース（教員5）

[認知情報学]
[情報コミュニケーション学]
[社会学]
[社会学]

- 実社会での情報リテラシー
- 実践的な実習や演習
- 〈情報を活用する力〉
- 解くべき「問題」の関係「要因」
- 社会調査
- 「実証的」に検討

7コースの紹介②

心理学・社会心理学コース（教員5）

[実験心理学・生理心理学]
[実験心理学・身体心理学]
[社会心理学・観光心理学]
[臨床心理学・記憶心理学]
[感情心理学・精神生理学]

- “心”とは何か？
- 様々な心理学的事象
- 実験・調査からのデータの解析
- 「社会的存在」としての人間
- 実証的に分析
- 理論的考察や法則性の発見

歴史学コース（教員5）

[日本近代史]
[日本近現代史]
[東洋史]
[西洋史]

- 地域からの視点
- 過去の「日本」と現在の「日本」
- 国境越えた交流や国家の枠組みにとらわれない人々の多様なつながり
- 世界でいちばん元気な所・アジア
- アジアの人々がどう生きてきたか
- 今、彼らが何を感じ 考えているか
- 私たちの国の政治・経済・その他の基礎である西洋
- 西洋史を学び社会の土台を理解

7コースの紹介③

比較言語文化コース（教員7）

[西洋古典学]

[比較文学]

[中国文学]

[中国語学]

[ドイツ語学]

[ドイツ文学]

[フランス文学]

- 神話や歴史、言語や哲学、文学理論、文学以外の芸術
- 様々な国の文学（古代から現代まで）
- 現代中国語の運用能力
- 古今の文化的背景への理解
- 世界の多様性と普遍性を実感
- ドイツ語圏の国々の言語・文学・文化
- 受容力・コミュニケーションリテラシー・ドイツ語運用能力
- 歴史と伝統を誇るフランス
—文学、哲学、思想、芸術、食文化、ファッション
- 言語と文化の諸相

7コースの紹介④

英米言語文化コース（教員4）

[英語学]

[英語学・中世英語英文学]

[アメリカ演劇]

[英米映画研究]

- 英語をめぐる数々の謎
- 先人の英知を「批判的に見る」目
- 理論的思考で自らの考えを客観的に記述
- 英語圏の文学や文化
- 異文化を理解する力や作品を深く鑑賞する力
- 精緻な分析力・批判的な読解力

日本言語文化コース（教員4）

[日本文学]

[日本文学]

[日本語学]

[日本語学]

- あらゆる日本語で書かれた文献・文化が対象
- 精確な読解に基づき文献の持つ意義を追究
- 古代から現代に至る日本語
- 自ら見出した課題についての調査研究

3.4年生の学びと卒業論文

研究室での学び

- ・ 研究室の演習，実習を中心に学びを深める
- ・ 研究室の後輩の指導など
- ・ 卒業論文に向けたテーマ選びなど

卒業論文

- ・ 10単位
- ・ 4月末までに題目を出す
- ・ 提出は12月25日（時間厳守）

**人文学部独自の海外短期研修・交換留学については、
配布資料の留学案内をご参照ください**

未来へのサポート ——

在学中や卒業後に取得できる資格

- ・ 教員免許：中学校教諭一種（国語・社会・英語）
高等学校教諭一種（国語・地理歴史・公民・英語）
※科目内容に一部変更の可能性あり
- ・ 学芸員
- ・ 社会調査士
- ・ 公認心理師（学部レベルの必要単位修得） ※受験には卒業後の“実務経験”必要

就職へのサポート

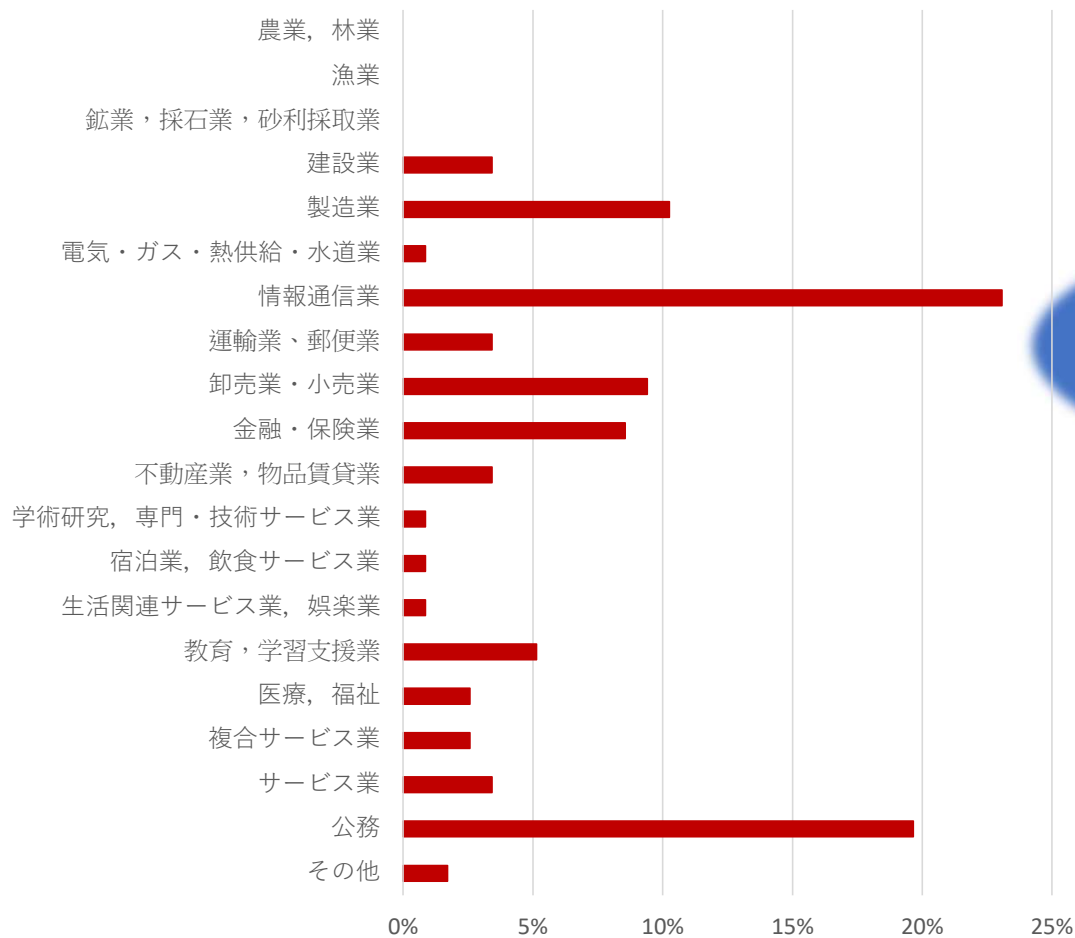
- ・ 外部専門家による就職ガイダンス
- ・ 先輩による就活体験談や報告会
- ・ キャリアデザイン講座
- ・ インターンシップ参加へのサポート

令和7年度就職率

98.3%

（就職希望者数のうち）

卒業後の進路



長野県内 40.2%
長野県外 59.8%

※うち 首都圏 33.3%

大学院進学

9%

(卒業生に占める割合)

信州大学大学院

京都大学大学院

東京学芸大学大学院

神戸大学大学院

一橋大学大学院

筑波大学大学院

厚生労働省

国税庁

長野地方裁判所

長野県庁等自治体

信濃毎日新聞社

八十二長野銀行

イオンリテール

集英社

日本郵便

星野リゾート

※就職先一部抜粋

学生生活 困ったときは…

指導教員とは異なる相談先

●学生相談窓口

気軽に相談「なんでも相談室」 ※学生生活の悩み, 不安, 困りごと, 心が疲れた…。
※「障害学生支援室」

●総合健康安全センター

身体とメンタルに関わる問題の相談

●学生相談室(人文学部学務係)

学業の問題, 対人関係, 事故処理等々

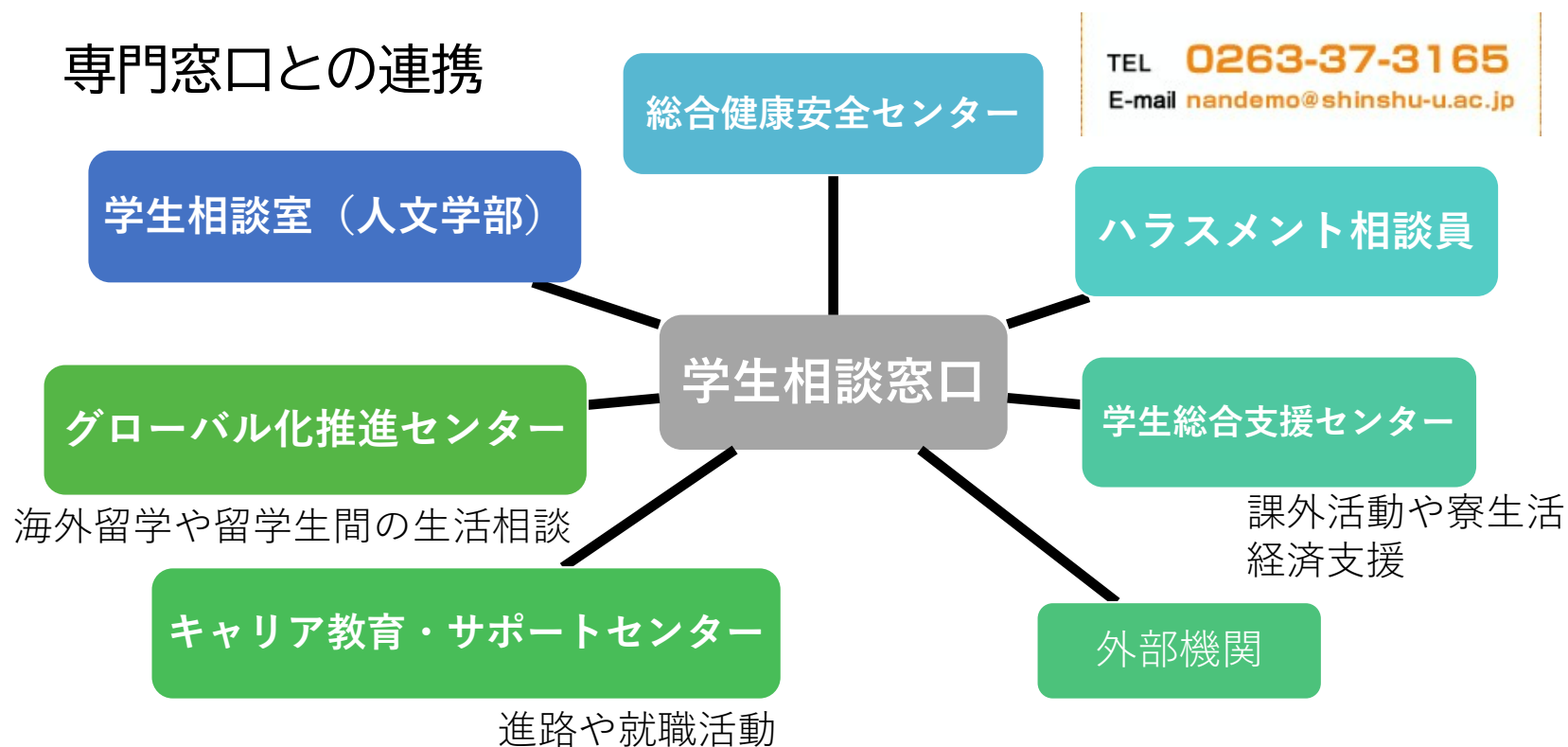
詳細は『学生便覧』参照

ひとりで
悩まない

電話やメールで
相談OK!

各種相談窓口

専門窓口との連携



休学・退学

事実：人文学部は信州大学で休学・退学率が1番高い学部

- ・留年者, 男子学生／県外進学者に休学・退学が多い傾向
- ・理由は, 疾病, 学費捻出困難, 留学等, 成績不振等の順
- ・休学・退学が一概に「悪い」わけではない

人文学部情報管理分析室による

- *私費留学や海外インターンシップ等は綿密な計画と準備を
- *メンタルの不調, 心配・不安等があるときは診察や相談を
- *休学・退学には, 保証人の同意, 指導教員との面談が必要

成績不振・学業意欲の減退・喪失からの、
意図しない休学・退学へと至らないように注意する